



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月5日

上場会社名 三菱食品 株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7451 URL https://www.mitsubishi-shokuhin.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森山 透
 問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 松原 孝彦 TEL 03-3767-5204
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	2,035,309	1.2	9,900	△24.7	11,135	△23.2	8,167	△15.3
2019年3月期第3四半期	2,010,674	4.7	13,152	△0.2	14,498	1.0	9,638	△2.4

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 7,734百万円 (△13.7%) 2019年3月期第3四半期 8,961百万円 (△24.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	142.95	—
2019年3月期第3四半期	168.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	798,307	180,984	22.7	3,165.62
2019年3月期	710,940	176,107	24.8	3,080.51

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 180,874百万円 2019年3月期 176,012百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2020年3月期	—	25.00	—		
2020年3月期（予想）				25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,640,000	0.8	14,500	△13.4	16,000	△12.9	11,000	△8.1	192.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	58,125,490株	2019年3月期	58,125,490株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	988,192株	2019年3月期	987,893株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	57,137,451株	2019年3月期3Q	57,137,654株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
3. 補足情報	9
(1) 品種別売上高明細表	9
(2) 業態別売上高明細表	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2019年4月1日～12月31日)におきましては、消費者の節約志向・生活防衛意識は依然として根強く、小売業の業態を超えた競争も引き続き激しい環境にあり、更に人手不足を背景とした物流コストの上昇も続いております。斯かる中、当社は基盤である卸事業の生産性向上と共に、新たな事業領域の拡大を更に推進し、卸事業と新規事業領域の最適なポートフォリオの形成を進めることで、収益の拡大に努めております。昨年4月には、「組織・人事の集約」を実施いたしました。これにより、カテゴリーの枠を超えた人材の流動化を進め、卸事業における人材の適正配置、更には成長分野への経営資源のシフトを推進します。

また、新設した「SCM統括」においては、営業とロジスティクスが連携し、業界全体が直面している物流コスト高騰に対し、製・配・販で連携した物流与件の見直しや、他業種も含めた物流協業の実行スピードを上げ、コスト削減に努めております。

加えて、着実に事業を拡大している「ブランド戦略本部」・「トレーディング本部」では、卸売の強みである営業力や多様なチャネルを最大限に活用し、自社開発商品の更なる拡販、メーカーとマーケティング・戦略等を共有したディストリビューター事業、及びトレーディング事業をより一層強化しております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、成長業態との取引拡大や消費税増税に伴う駆け込み需要等により、2兆353億9百万円(前年同期比1.2%増加)となりました。

利益面につきましては、小売業の競争激化に起因した取引の見直しや物流コストを含む販管費の増加に加え、夏場の天候不順等の影響により、営業利益は99億円(前年同期比24.7%減少)、経常利益は111億35百万円(前年同期比23.2%減少)、親会社株主に帰属する四半期純利益は81億67百万円(前年同期比15.3%減少)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの利益又は損失の算定方法を変更しており、以下の前年同期間との比較については、前年同期間の数値を変更後の利益又は損失の算定方法により組替えた数値で比較しております。報告セグメントの算定方法の変更の詳細につきましては「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)セグメント情報」の「3. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご覧ください。

①加工食品事業

売上高は、コンビニエンスストア、ドラッグストアとの取引が伸長したことや嗜好品等が好調であった一方で、取引の見直しや天候不順に伴う飲料の落ち込み等が影響し、減少いたしました。利益面につきましては、物流コストを含む販管費の増加等により前年同期を下回りました。

以上の結果、売上高は6,112億75百万円(前年同期比0.3%減少)、営業利益は15億95百万円(前年同期比38.5%減少)となりました。

②低温食品事業

売上高は、取引の見直しや天候不順に伴う季節商材の落ち込みが影響したこと等により、減少いたしました。利益面につきましては、売上高減少による売上総利益の減少に加え、物流コストを含む販管費の増加等により前年同期を下回りました。

以上の結果、売上高は8,046億2百万円(前年同期比0.5%減少)、営業利益は53億15百万円(前年同期比29.2%減少)となりました。

③酒類事業

売上高は、コンビニエンスストア、卸売との取引が伸長したことや、増税に伴う駆け込み需要の影響から好調に推移したこと等により増加いたしました。利益面につきましては、売上高増加による売上総利益の増加等により前年同期を上回りました。

以上の結果、売上高は3,831億57百万円(前年同期比6.0%増加)、営業利益は18億60百万円(前年同期比25.2%増加)となりました。

④菓子事業

売上高は、コンビニエンスストア、ドラッグストアとの取引が伸長したことや、スナック菓子等が好調であったことから増加いたしました。利益面につきましては、売上高増加により売上総利益が増加したものの、物流コストを含む販管費の増加をカバーするに至らず、前年同期を下回りました。

以上の結果、売上高は2,343億88百万円(前年同期比3.7%増加)、営業利益は18億57百万円(前年同期比16.2%減少)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産が873億66百万円増加、負債が824億89百万円増加し、純資産が48億77百万円増加いたしました。

総資産及び負債の増加の主な要因は、季節変動等によるものであり、総資産においては「受取手形及び売掛金」が461億3百万円増加、「商品及び製品」が261億69百万円増加し、負債においては「買掛金」が820億92百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、当第3四半期の業績動向を踏まえ、2019年5月9日に公表いたしました2020年3月期の通期の業績予想を修正いたしました。

売上高につきましては、長引く市況の低迷や天候不順の影響もあり、当初の予想から下回る見通しです。

利益面につきましても、人手不足を背景とした物流コストの上昇や、小売業の業態を超えた競争激化等により、当初の予想から下回る見通しです。

なお、配当につきましては、安定的な配当の維持を目指すという基本方針に基づき、当初の予想通りとさせていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	351	436
受取手形及び売掛金	339,307	385,411
商品及び製品	68,826	94,995
原材料及び貯蔵品	649	654
短期貸付金	96,466	102,034
その他	61,830	69,855
貸倒引当金	△211	△212
流動資産合計	567,219	653,175
固定資産		
有形固定資産	76,085	75,702
無形固定資産		
のれん	2,235	2,011
その他	16,343	16,526
無形固定資産合計	18,578	18,538
投資その他の資産		
投資有価証券	25,810	25,568
その他	23,259	25,336
貸倒引当金	△13	△15
投資その他の資産合計	49,056	50,890
固定資産合計	143,721	145,131
資産合計	710,940	798,307
負債の部		
流動負債		
買掛金	450,317	532,409
引当金	2,286	99
その他	60,276	61,224
流動負債合計	512,880	593,733
固定負債		
役員退職慰労引当金	3	—
退職給付に係る負債	11,349	11,360
その他	10,600	12,228
固定負債合計	21,953	23,589
負債合計	534,833	617,322
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,630	10,630
資本剰余金	33,387	33,387
利益剰余金	127,356	132,666
自己株式	△2,559	△2,559
株主資本合計	168,815	174,125
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,377	6,892
繰延ヘッジ損益	△4	29
為替換算調整勘定	△96	△144
退職給付に係る調整累計額	△78	△27
その他の包括利益累計額合計	7,197	6,749
非支配株主持分	94	109
純資産合計	176,107	180,984
負債純資産合計	710,940	798,307

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	2,010,674	2,035,309
売上原価	1,872,378	1,899,110
売上総利益	138,296	136,198
販売費及び一般管理費	125,143	126,298
営業利益	13,152	9,900
営業外収益		
受取利息	45	48
受取配当金	456	502
不動産賃貸料	927	948
その他	1,239	951
営業外収益合計	2,668	2,451
営業外費用		
支払利息	79	78
不動産賃貸費用	856	832
その他	388	304
営業外費用合計	1,323	1,215
経常利益	14,498	11,135
特別利益		
投資有価証券売却益	21	280
固定資産売却益	—	1,734
特別利益合計	21	2,015
特別損失		
減損損失	329	845
災害による損失	286	38
その他	19	—
特別損失合計	635	884
税金等調整前四半期純利益	13,885	12,266
法人税、住民税及び事業税	3,372	2,993
法人税等調整額	855	1,090
法人税等合計	4,228	4,083
四半期純利益	9,657	8,182
非支配株主に帰属する四半期純利益	18	15
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,638	8,167

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	9,657	8,182
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△771	△484
繰延ヘッジ損益	△2	33
為替換算調整勘定	△1	△4
退職給付に係る調整額	97	50
持分法適用会社に対する持分相当額	△18	△43
その他の包括利益合計	△695	△447
四半期包括利益	8,961	7,734
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,942	7,719
非支配株主に係る四半期包括利益	18	15

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	加工食品 事業	低温食品 事業	酒類事業	菓子事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	612,879	808,538	361,318	226,075	2,008,812	1,862	—	2,010,674
セグメント間の内部売上高又は振替高	402	1	38	4	447	7,333	△7,780	—
計	613,282	808,539	361,357	226,080	2,009,259	9,195	△7,780	2,010,674
セグメント利益	2,595	7,506	1,485	2,216	13,803	268	△919	13,152

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	13,803
「その他」の区分の利益	268
のれんの償却額	△223
全社費用	△695
四半期連結損益計算書の営業利益	13,152

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	加工食品 事業	低温食品 事業	酒類事業	菓子事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	611,275	804,602	383,157	234,388	2,033,424	1,884	—	2,035,309
セグメント間の内部売上高又は振替高	363	1	64	3	433	7,259	△7,692	—
計	611,639	804,603	383,222	234,392	2,033,857	9,144	△7,692	2,035,309
セグメント利益	1,595	5,315	1,860	1,857	10,629	226	△956	9,900

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	10,629
「その他」の区分の利益	226
のれんの償却額	△223
全社費用	△732
四半期連結損益計算書の営業利益	9,900

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントごとの業績をより適正に評価管理するために、当社の共通コストの配賦方法を見直し、事業セグメントの利益又は損失の算定方法の変更を行っております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の利益又は損失の算定方法により作成したものを記載しております。

3. 補足情報

(1) 品種別売上高明細表

品種	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)		前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
缶詰・調味料類	214,091	10.7	213,280	10.5	281,440	10.8
麺・乾物類	120,749	6.0	121,238	6.0	160,162	6.1
嗜好品・飲料類	224,817	11.2	226,520	11.1	290,734	11.1
菓子類	228,138	11.3	235,647	11.6	307,689	11.8
冷凍食品類	414,653	20.6	411,233	20.2	534,858	20.4
チルド食品類	348,064	17.3	344,387	16.9	451,428	17.2
ビール類	188,170	9.4	202,199	9.9	239,272	9.1
その他酒類	161,111	8.0	167,680	8.2	210,608	8.0
その他	110,878	5.5	113,121	5.6	144,123	5.5
合計	2,010,674	100.0	2,035,309	100.0	2,620,316	100.0

(2) 業態別売上高明細表

業態	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)		前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
卸売	173,848	8.6	183,352	9.0	225,516	8.6
SM	847,348	42.2	824,647	40.5	1,102,614	42.1
CVS	654,538	32.5	664,213	32.6	851,967	32.5
ドラッグストア	93,596	4.7	116,158	5.7	123,314	4.7
ユーザー	49,559	2.5	49,589	2.4	64,544	2.5
その他直販	143,583	7.1	149,670	7.4	187,403	7.1
(直販計)	1,788,627	89.0	1,804,280	88.6	2,329,845	88.9
メーカー・他	48,198	2.4	47,676	2.4	64,955	2.5
合計	2,010,674	100.0	2,035,309	100.0	2,620,316	100.0

(注) 1. SMはスーパーマーケットであります。

2. CVSはコンビニエンスストアであります。

3. ユーザーは外食・中食・給食等消費者へ直接飲食サービスを提供する事業者であります。